『統計検定 1 級』10 → 11 刷　正誤表

該当箇所	誤	正
p.75 コメント の 2 行目	AIC で比較できるモデルはそれぞれが包 含関係にあるようなもののみである.	包含関係にあるモデルの比較に対して AIC を用いることが多いが，それ以外 のモデルの比較に用いても問題はない.

『統計検定 1 級』11 → 12 刷　正誤表

該当箇所	誤	正
p.112 下から 13 行目	このとき，無帰仮説のもとでの	このとき，帰無仮説のもとでの
p.143 1 行目 数式（　）の中の 分数の分子	$U - E(U) - 0.5$	$\|U - E(U)\| - 0.5$
p.274 3 行目	R_1 ＝差が正値	W ＝差が正値
p.274 5 行目 分数の分子側	$\|R_1 - n(n+1)/4\| - 1/2$	$\|W - n(n+1)/4\| - 1/2$
p.274 11 行目	1 群のほうの群の総和を R_1 と置くと，	1 群のほうの群の総和を W と置くと，
p.274 12 行目 分数の分子側	$\|R_1 - n_1(n_1 + n_2 + 1)/2\| - 1/2$	$\|W - n_1(n_1 + n_2 + 1)/2\| - 1/2$
p.291 問 3.1 の 〔3〕上から 2 行目 以降差し替え	(略) である. 一方, $\mathrm{E}\left[\left(\dfrac{\partial \log f(X;\theta)}{\partial \theta}\right)^2\right] = \mathrm{E}[(Y - \mathrm{E}[Y])^2] = \dfrac{1}{\theta^2}$ なので，T の分散はこの下限を達成している.	(略) である. 一方, $\tau = 1/\theta$ とおくと，$n = 1$ のとき $f(x;\tau) = \dfrac{1}{\tau}(1+x)^{-(1+1/\tau)}$ となり，フィッ シャー情報量は $\mathrm{E}[\partial \log f(x;\tau)/\partial\tau]^2 = 1/\tau^2 = \theta^2$ となる.　一般の n の場合，3.6.2 項の公式より， T は分散の下限 $1/\mathrm{E}[\partial \log f(x;\tau)/\partial\tau]^2 = 1/n\theta^2$ を達成している.
p.291 問 3.2 の 〔4〕差し替え	デルタ法による漸近分散は, $\mathrm{Var}[1/\bar{X}\ ] = \{g^{'}(\lambda)\}^2 \mathrm{Var}[\bar{X}] =$ $(-\lambda^2)^2 \times \dfrac{1}{n\lambda^2} = \dfrac{\lambda^2}{n}.$	$\theta = 1/\lambda$ とおくと $g(\theta) = 1/\theta, g^{'}(\theta) = -1/\theta^2$ となり, デルタ法による漸近分散は, $\mathrm{Var}[1/\bar{X}] = \{g^{'}(\theta)\}^2 \mathrm{Var}[\bar{X}]$ $= (-1/\theta^2)^2 \times \dfrac{1}{n\lambda^2} = \dfrac{\lambda^2}{n}$
p.294 問 6.3〔5〕 の本文中	一般に，$x = x_0$	一般に，サンプルサイズを n としたとき，$x = x_0$
p.294 問 6.3〔5〕 の本文中	$m_0 = a + bx_0$ として，	$m_0 = a + bx_0$，$\alpha = t_{0.025}(n-2)s$ として，
p.294 最終行の数式	$m_0 - s\sqrt{\dfrac{1}{n} + \dfrac{(x_0 - \bar{x})^2}{\sum_{i=1}^{n}(x_i - \bar{x})^2}} < \mu_0 < m_0$ $+ s\sqrt{\dfrac{1}{n} + \dfrac{(x_0 - \bar{x})^2}{\sum_{i=1}^{n}(x_i - \bar{x})^2}}.$	$m_0 - \alpha\sqrt{\dfrac{1}{n} + \dfrac{(x_0 - \bar{x})^2}{\sum_{i=1}^{n}(x_i - \bar{x})^2}} < \mu_0 < m_0$ $+ \alpha\sqrt{\dfrac{1}{n} + \dfrac{(x_0 - \bar{x})^2}{\sum_{i=1}^{n}(x_i - \bar{x})^2}}.$
p.299 問 9.2〔3〕 の 3〜4 行目数式	$\hat{\theta}_1 = 32{,}789/16 \approx 12{,}049$ となる.	$\hat{\theta} = 32{,}789/16 \approx 2{,}049$ となる.